

同窓会に新会員が入会しました

周辺の山々に春の気配が漂い始めた平成 27 年 2 月 27 日（金）、山梨県立都留高等学校同窓会入会式が母校の体育館で行われました。

新会員は 3 月 1 日（日）都留高等学校を卒業する、全日制課程 226 名（男子 115 名・女子 111 名）、定時制課程 2 名（男子 1 名・女子 1 名）、合計 228 名です。母校を卒業し、それぞれの進路先で新たなスタートを切る新会員の皆様方の益々のご活躍を願っております。

入会式は同窓会役員 33 名と教職員立会いの下、厳粛に執り行われました。入会式の概況については次の通りです。

同窓会入会式の概況

同窓会副会長 天野 行（高 2）の開式のことばで会が始まりました。
同窓会長（平井 茂）あいさつの要旨



都留高等学校の沿革、校章・校歌誕生の由来、校門を入れて左側にある気象庁の大月観測所設置につながった会長と同時代のクラブ活動の紹介、現在の同窓会活動の内容等について話され、同窓会への入会を歓迎されました。

志村憲一校長（高2 4回）あいさつの要旨



同窓会入会式挙行と同窓生の参列者への謝辞、新入会員への励ましのことば、同窓会の発展と新会員の同窓会活動への積極的なかかわり等について分かりやすく話されました。

記念品贈呈

同窓会より新会員に記念品（印鑑）が贈呈され、生徒を代表して内山翔平君が受領しました。



入会者代表宣誓

同窓会新入会員を代表して原田梨穂さんが同窓生としての心構えを宣誓しました。



同窓会副会長小泉皖司（高4）の閉式のことばで入会式を閉じました。

永年勤続表彰

入会式後母校に10年勤務されている家庭科の日野原一穂先生に感謝状と記念品が授与されました。



教育後援会表彰・授与式

同窓会入会式の後、教育後援会表彰・授与式が行われました。

3カ年間の高校生活において、学習面と課外活動で顕著な成績を残された2名の卒業生（河村優一郎君、守屋実紀さん）に若鶴賞が授与され、部活動振興費が新生徒会長（佐野兼央君）に授与されました。

若鶴賞授与



部活動振興費授与

